

## 新政みえビジョンの進捗状況 ～その実現に向けての活動～

新政みえでは、平成19年の県議会議員選挙の際、会派として取り組む具体的な政策「新政みえビジョン」をマニフェストとしてお示しました。4年間の任期で個々の政策を「条例」「提言」「議会質疑」等を通して実現していきます。会派内にビジョン進行管理の担当を置き、一年毎に検証していきます。

現在の取組みの一部ですが、下記の通りです。http://www.shinsei-mie.com/(参照:新政みえビジョン)

### ① 議会のあるべき姿

三重県議会では、県民主体の県政実現のため様々な議会改革に取り組んでいます。議員提案条例の制定もその一つです。「リサイクル製品利用推進条例」「地域産業振興条例」「森林づくり条例」などこれまでも新政みえが中心となって政策条例を制定してきました。

5月には地域の多様な主体の協働による地域づくりを推進するため「地域づくり推進条例」を議員提案で制定しました。また、議会での審議を更に充実させるため会期を年2回制とし、審議日数の拡大、政策討論会議の設置、各検討会の設置、参考人招致の活用等をはかっています。

### ② 地域主権社会の確立

平成12年の地方分権一括法以来、地方分権の流れは着実な歩みを進めています。そんな中、私たちは地域のことは地域で決める地域主権社会を目指しています。「新しい時代の公」を担うNPOの発展を支援するため議会に「NPO支援に関する勉強会」「NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会」を設置、1%条例の制定や基金の創設等をめざして議論を深めるとともに、「道路特定財源の一般財源化を求める意見書」を新政みえの提案で議決するなど、地方の自主財源の充実に引き続き努力して参ります。

### ③ 格差社会の解消

地域格差の是正と、社会的に弱い立場の人の生活を守る取組みを進めています。医療費助成制度の見直しにおいては、新たな自己負担なく対象拡大を図るとともに、後期高齢者医療制度については、負担軽減など制度の見直しを求める意見書を国に提出しました。

また、地域医療を守るため県立病院のあり方や医師確保等について特別委員会から知事に提言しました。

### ④ みんなで築く安心・安全社会の創設

県内の食品偽装問題に端を発し、食の安全・安心に対する信頼が大きく揺れました。県民の食に対する安全・安心を確保するため、議員提案による条例を制定しました。

県の責務、食品関連事業者の責務、県民の役割等を明らかにし、総合的な施策の推進をはかります。加えて、本年度は「食料自給対策調査特別委員会」を設置しました。

### ⑤ 人口減少社会への対策充実

人類が初めて経験する人口減少社会の到来に対して、子育て支援、教育の充実、男女共同参画社会の確立を目指しています。少人数教育の充実をはかり、すべての子ども達に行き届いた教育を進めるため、県独自教員配置を進めるとともに、国へは意見書により、30人学級を柱にした定数改善計画の策定、教育予算の増額を行うよう強く要望しています。また、産業構造の変化に対応する政策提言を進めてまいります。



## 「エコまつり」のご案内

本年度、社団法人四日市青年会議所で、私は環境委員会の副委員長を仰せつかっております。一年間通して「環境問題の核心を衝く」をテーマに勉強会等を行ってまいりましたが、その集大成として下記の通り「エコまつり」を行います。是非遊びに来てください。

**日時** 10月19日(日)10:00～16:00 **場所** 市民公園(近鉄四日市駅西) 四日市市立博物館1階講座室

雨天決行  
来場無料

10:00から市民公園特設ステージでタレントのジョン・ギャスライト氏の講演があります。午後は、博物館にて、「環境問題はなぜウソがまかり通るのか」の著書で有名な中部大学教授の武田邦彦氏やゴア元アメリカ副大統領の著書「不都合な真実」を日本語訳したことなどで有名な環境ジャーナリスト枝廣淳子氏などを交えてパネルディスカッションを行います。市民公園では環境に取り組む最先端企業の企業展が行われます。



### ■ 政権交代

地元の岡田克也代議士の本「政権交代」が出版されました。私も読みましたが、読み応えのある本です。岡田ファンの方もそうでない方も是非読んでみてください。



### 【個人献金のお願い】

いながき昭義の政治活動は、皆様方の個人献金にお支えいただいております。勝手なお願いで恐縮ですが、可能な範囲でのご支援心からお願い申し上げます。  
◆ 三重銀行 三重支店 口座番号911077 名義 昭友会 代表者 稲垣昭義  
◆ 郵便局 記号12280 番号26086671 名義 昭友会 代表者 稲垣昭義

三重県議会議員

# いながき昭義

後援会  
会報

## Contents もくじ

- 平成20年度いながき昭義の所属
- 県政座談会のご案内
- 平成20年度第1回定例会6月会議報告
  1. 新県立博物館について
  2. 森林環境税について
  3. NPO等ソーシャルビジネス特別委員会報告
- アメリカ視察報告
- 新政みえビジョン進捗状況
- 「エコまつり」のご案内
- 岡田かつや代議士「政権交代」出版



ブログ  
いながき昭義の  
ひとり言  
http://ameblo.jp/dream-21  
日々更新中!!

## ■ いながき昭義の平成20年度の所属が決まりました

### 【議会公職】

- ・生活文化環境森林常任委員会 ..... 委員
- ・予算決算常任委員会 ..... 委員
- ・NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会 ..... 委員長
- ・議会改革推進会議 ..... 監事
- ・議長等の任期に関するプロジェクト会議 ..... 委員
- ・宮川プロジェクト会議 ..... 委員

### 【会派役職】

- ・新政みえ ..... 副幹事長

## 県政座談会のご案内

定期的に各地区市民センターごとに座談会を開催し、皆様と意見交換させていただきます。是非ともご家族・ご友人などお誘い合わせでお越し下さい。

- 9月 6日(土) 18:00～ 塩浜地区市民センター
- 9月 6日(土) 19:30～ 本町プラザ
- 9月13日(土) 18:00～ 桜地区市民センター
- 9月13日(土) 19:30～ 川島地区市民センター



今年から三重県議会は年2回制となり、2月19日に開会した第1回定例会は133日間の会期をもって6月30日に閉会しました。これだけの長い会期は全国で初めての試みですが、これまで知事が専決処分していた県税条例改正案について議会で審議を行ったこと(特に今回は道路特定財源の暫定税率の問題があり難しい議論となりました。議論の中身はブログをご参照ください)、常任委員会の審議日数が大幅に増えたことなど、改革の成果は少しずつ出てきたように感じます。

6月会議で私の常任委員会で議論になった新県立博物館の問題と森林環境税導入の問題については、直面する県政の重要課題と考えます。詳細は下記になりますが、是非皆様のご意見をお寄せください。

## みなさまのご意見をお聞かせください!!

いながき昭義直通  [inagaki@dream-21.jp](mailto:inagaki@dream-21.jp)  **059-330-4089**

### 1 【新県立博物館建設について】

知事の選挙公約である新県立博物館建設にむけて本年3月に「新県立博物館基本構想」が示され、現在その基本構想を具体化するため「新博物館基本計画」が策定中です。9月に中間案がまとまり、11月には最終案がまとまる予定です。

私は、財政が厳しい今、巨額の費用をかけて新しい県立博物館をつくることを県民が求めているかどうか、また、建設する場合どのような博物館を望んでいるのかを、よく議論する必要があると考えます。三重県が収蔵する歴史的、文化的な資産を後世に伝えていく必要は充分認識した上で、今後の博物館のあり方を生活文化環境森林常任委員会で結論を出さなければいけません。

座談会の度に、「これまで県立博物館に行ったことがありますか?」という質問をすると、行ったことがあるという方はほとんどいらっしゃいません。四日市市民は津の博物館まであまり行っていないようです。

6月会議では、新しい県立博物館は収蔵機能のみとし、県内各地で行っている移動博物館を強化する方が県民に親しんでもらいやすく重要ではないか、といった提案をさせていただきました。

是非とも皆様のご意見をお聞かせください。

<http://www.pref.mie.jp/shinhaku/hp/keikaku/index.htm> (参照:県立博物館の検討状況)

### 2 【森林環境税の導入について】

三重県は県土の2/3が森林です。しかし、多くの森林で手入れがされず放置されたままの状態となっています。地球温暖化防止の観点や、災害対策や地域づくりの視点から森を再生する必要がありますが、財政が厳しい今、県として十分な対応が出来ていない現状があります。そんな中、森林環境税を導入して新たな財源を確保する議論が何度もなされてきましたが、結論は出ていません。

本年3月に「三重の森林づくり検討会報告書」がまとまり、検討委員会として具体的に「個人県民税に1,000円上乘せ、法人県民税10%上乘せで設定し約10億円の財源を確保すること。その使い道として①森林の多目的機能発揮(森林整備費)②林業の持続発展③森林環境教育の振興④森林づくりへの県民参画推進」といった提案がなされました。

後は知事の決断待ちといった状況に来ております。森を守り、再生する必要性は充分認識しておりますが、新税導入は、県民にとって増税となります。物価が高騰し、生活が厳しくなっている今、増税議論は慎重に行う必要があると考えます。是非とも皆様のご意見をお聞かせください。

<http://www.eco.pref.mie.jp/shinrin/gyousei/iinkai/pdf/saishu.pdf>

(参照:三重の森林づくり検討委員会報告書)

## NPO等ソーシャルビジネス支援調査特別委員会 報告

昨年、三重県議会にNPO支援に関する勉強会が超党派で設置され、私が座長として一年間議論をし、報告書を取りまとめました。そこで、NPOが抱えるたくさんの課題がある中で「お金」と「人材」の二つが最も大きな課題であり、知事の県政運営の柱である「新しい時代の公」を担うNPOへの具体的な支援策を今後考える必要がある、との結論になりました。

本年、特別委員会を設置し、NPOのみをとらえるのではなく、経済産業省が打ち出した新しい概念であるソーシャルビジネスといった視点で調査をはじめ、NPOに対する具体的な支援施策をつくっていきます。

参考人を招致し専門的な知識を身につけ、中身のある施策を取りまとめることとし、6月は慶應大学の井上英之先生を、7月にはNPO法人ソーシャルイノベーションジャパンの町野弘明事務局長をお招きし学ばせていただきました。

一年でしっかりとした成果を残したいと考えます。

3泊5日の日程で、高橋千秋参議院議員と三谷哲央新政みえ代表、笹井健司議員、辻三千宣議員、藤田宜三議員と一緒に米国のサンフランシスコ、サクラメントを訪問しました。今回の視察のテーマは、「第一次産業と環境」で米国国務省にプログラムしてもらい現場の声をたくさん聞かせていただくことができました。

私は、いままで農業には関心はあるもののあまり突っ込んだ勉強をしていませんでしたので今回の視察をきっかけに、農業を環境・食料自給率の向上・安全の視点から調査を深めていきたいと考えます。

○概略行程

#### ■カリフォルニア州マリナー郡農業委員会

農業の持続可能な発展のための取組み、農地を開発から守る取組みなどの調査

興味深かったのは、将来、「都市の価値より農地の価値が高くなる時代が必ずやってくる」「多様性があり、空気、水をきれいにする農地が天然資源として評価される時代がやってくる」といったことを米国においても考えられていることです。

また、遺伝子組換えの議論では、連邦の法は州には及ぶが、郡の条例には及ばないということで、マリナー郡では遺伝子組換え禁止条例を作っているとのことでした。地方分権というより地域主権の考え方を感じさせられました。

#### ■カリフォルニア大学共同組合

有機農法に取組む農家を訪問。大規模農業が主流の米国においても、地域に密着したコミュニティービジネス的な農業が増えてきているようです。訪問したマイク農場では、牛に穀物を食べさせず牧草のみで育て顧客から委託を受けた分のみ牛を育て販売する(70頭～80頭/年間)という仕組みで行っています。納屋は結婚式やダンスパーティーに貸し出すなど新しい取組みが始まっています。

#### ■グリーンガルチファーム禅センター

日本仏教の曹洞宗の座禅研修センターで有機農法などを取り入れた修行が行われています。50人～60人の修行僧が住み込みで修業していました。

#### ■カリフォルニア州議会議事堂

上院・下院を訪問、女性議員も多くまた、政策スタッフも充実しています。本会議場の各議員席にパソコンが置いてあり、本会議を含めた会議はペーパーレスです。パソコンが使えない人は議員になれない(?)のかもしれませんが。

#### ■カリフォルニア州農業食糧部・水資源利用部

食の安全・安心に対する取組み、再生エネルギーの取組みなど限られた時間でしたがいい意見交換ができました。

#### ■サクラメント市役所・養殖場

なまず、チョウザメなどの養殖場を訪問、養殖池を水上スキーに貸し出したり、釣り堀を行ったりと多目的に使っている所が日本とは違う所だと感心しました。

訪問した時は、養殖池で障害者のスポーツ大会が開かれていました。

#### ■サラダコスモアメリカ

日本人が経営する会社で、もやしの生産工場です。約10年前に米国に渡った中田社長が立ち上げ今では北カリフォルニア地域のもやしシェアの8割を占め、もやしとカイワレの生産で大成功を収められています。

アメリカンドリームを聞かせていただきました。



マイク農場納屋



カリフォルニア州議会上院本会議場

詳細な報告は作成始第、HPに掲載しますので、ぜひご覧ください。